

和紙のランプ 長く回るコマ

多彩な研究 集大成発表

蘇南高

田立地区の和紙でランプを作った斉藤明日香さん(ひは)は、「お葉巻の小豆は疲労回復に効果がある」と解説。

「しわがでないように和紙を張るのが難しかった。伝統技術と特産品で町おこしにつな

下陸君(も)は、軸の長さを変えたり、試行錯誤を繰り返して、九百三十六回、計十九時間に及ぶ計測データをグラフで示した。

南木曾町の蘇南高校で十八日、三年生が約一年間の研究成果を披露する「総合研究発表会」が開かれた。ポスター展示や来場者の前でのスライド発表のほか、生徒が考案したパンの試食コーナーなど多彩な研究成果が並んだ。

(前田寛季)

週に二時間の「総合的な学習」の集大成として、二〇一一年から開催。今年は五十六人が三十グループに分かれ、「ジブリ映画の舞台を巡る旅行プラン」「南木曾の食材を使った商品開発」といった発表を披露した。

体育館には、各グループのポスター展示がずらりと並び、パンは茶葉を混ぜ込んだ工夫で作って、生徒が製作したロボットの実物展示

30グループ スライドも使い



ポスターがずらりと並び、開発したパンの試食コーナーもあった総合研究発表会＝南木曾町の蘇南高校で

保護者の木村早智子さん(ひも)＝大桑村＝は「子どもは遅くまで発表の練習をしていた。どの発表も立派でした」と感心した様子。総合学科主任の岡沢啓司教諭(ひも)は「スライドやポスターも生徒が作った。自分で調べ、研究する姿勢が備わってきた」と話していた。

来場者には研究成果を採点する評価表が配られ、同校は二十五日に最高点の発表者らを表彰する。